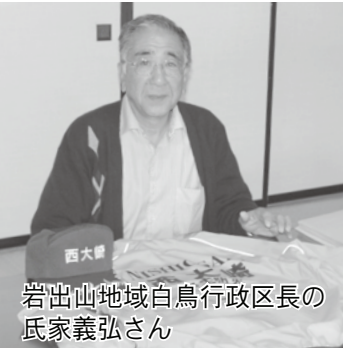




鹿島台地域出町自主防災会の皆さん。左から本村哲志さん、行政区長の鈴木三男さん、酒本貞助さん、本村幸雄さん



岩出山地域白鳥行政区長の氏家義弘さん



鳴子温泉地域北野際行政区・町内会長の伊東晴彦さん



田尻地域横町河岸前行政区。左から行政区長の丸谷喜美治さん、高橋保雄さん、菊地政子さん



三本木地域斉田行政区長の熊谷茂雄さん

地域の防災力を高める

自主防災組織の取り組み



松山地域駅中区行政区長の中川二郎さん



防災対策支援金で購入したリヤカー

民家が点在する地理的な条件から、安否確認には相当な時間を必要とします。

そこでこの地区では、防災対策支援金を利用して、連絡用のトランシーバーを購入して機動力を向上させました。

「もし平日の日中に大きな地震が来れば、高齢者同士で助け合わなければならない。これから、訓練を行うにしても高齢者が参加しやすいように考えていきたい」と、町内会長の伊東晴彦さんは、高齢者への配慮の重要性を感じています。

小さな避難所単位で行動

鹿島台地域の出町行政区では、区域内に二十個所の独自の避難所を設定しています。地震が起きたらまず近くの避難所に行つて安全を確かめ合い、その上で班長が自主防災組織の本部がある集会所に報告するような情報収集体制をとっています。

各避難所は十世帯ほどで編成されていて、防災訓練もそれぞれの避難所ごとに独自に実施しています。

こうした小さい単位の組織づくりについて、行政区長の鈴木三男さんは「隣組なら意思の疎通がしやすく、きめ細かな対応ができる。第一その

近い将来高い確率で発生することが予想されている宮城県沖地震に備え、いざという時の心構えとともに、近隣の人たちと協力し合い「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の防災力の向上させることが求められています。市内各地域における自主防災組織の取り組みを紹介します。

◎ 防災安全課 ☎5144

アイデア掲示板で安否確認を迅速化

JR松山町駅前にある閑静な住宅地、駅前中区行政区は、十年ほど前に宅地造成された新しい町で、自主防災組織を設立して以来、毎年二回の防災訓練を続けています。

集会所の入り口には、安否確認用の掲示板が常時設置されていて、班ごとに安否確認をした班長さんは、集会所までやってきて、掲示板に下げられて自分の班の札を裏返すことで安否確認ができたかどうかを一目瞭然で判別できるようになっています。

訓練の成果で、今では、おおむね三十分以内に安否確認できるようになりました。行政区長の中川二郎さんは

ほうが早い」といいます。

昨年、防災対策支援金を充てて、避難所の目印となる標柱を設置するとともに、避難所の場所を記した防災マップの改訂版を作り、全戸に配布しました。

自治協議会で支え合う地域づくり

岩出山地域の東端に位置する西大崎は六行政区から成る地域で、西大崎自治協議会があります。合併後に行政区ごとに自主防災組織を作り、さらに、自治協議会によって地域を支え合うことで、組織力を強化しています。

これまで二回、西大崎全体で防災訓練を実施してきました。すべての家を訪問して安否確認するという徹底した訓練を行っています。

また、移動研修も毎年実施していて、石巻市河南町、新潟県旧山古志村、昨年は栗原市耕英地区に赴き、地震での貴重な体験を学びました。

毎回研修に参加している白鳥行政区長の氏家義弘さんは「避難所での生活などは経験した人でなければ分からないことばかり。持ち帰って地域の住民に知らせています」と、地域全体の防災意識の向上を図っています。

「地震はいつ来るか分からないけれど、必ずいつか来ます。その時になってあわてないために、また、誰かが何とかわてくれるというのではなく、自分で意識を持つて守ることが必要」と、訓練の重要性を感じています。

この地区では、一昨年の岩手・宮城内陸地震の際、全国から市に対して寄せられた義援金の一部を充てた防災対策支援金でアルミ製リヤカーを購入しました。

横町河岸前行政区では、その時の経験から、人命を最優先に考え「自分の身を守る。次に家族に目を向ける。その次に隣に目を向ける。大丈夫だったら公会堂に集まる」という心構えを、地域内に浸透させています。

行政区長の丸谷喜美治さんは「もし、倒壊家屋が発生した場合、消防や自衛隊が救援に来るのを待っていたのでは手遅れになる。隣近所の人で助け出すことが生死を分ける」と話します。

地域の恒例行事に訓練を取り入れて参加率向上

三本木地域の斉田行政区では、毎年一回防災訓練を実施してきましたが、参加率を上げるため、昨年は、地域の恒例行事となつているスポーツ大会に合わせて防災訓練を実施しました。消防署からも応援をもらい、例年やっていた避難訓練や炊き出し訓練のほかに、消火訓練や煙中体験、応急手当などの訓練を初めて地区内で実施しました。

行政区長の熊谷茂雄さんは「迫力があつて、説得力もあり、住民の反応も上々だった」と手ごたえを感じていて、こ

総合防災訓練

日時 6月13日(日) 9時～
会場 鹿島台地域 鎌田記念ホール
内容 および周辺地域 防災対応型訓練、初期消火、応急救護、救出訓練、炊き出し、ライフライン復旧訓練など

会場周辺の住民の皆さんは避難訓練に参加していただきます。この機会に、家族で徒歩により避難所までの道のりを確かめてみてください。

鹿島台地域の皆さんも自主防災組織を中心に訓練に参加しますので、他の地域の自主防災組織活動の参考にしてください。

※9時に訓練開始のサイレンが鳴り、会场上空を防災ヘリコプターが飛行します。災害と間違えないようご注意ください。
※駐車場に限りがありますので乗り合わせて来場のうえ、誘導員の指示に従ってください。

◎ 防災安全課 ☎5144



古川地域高倉地区振興協議会の皆さん。左から鈴木勝也さん、会長の残間庄平さん、佐藤清次さん、高橋靖明さん、加藤均さん